

園芸文化協会は本年3月10日に創立80年を迎えました。長きにわたり活動を続けてこられたのも会員の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。今年度はメモリアルイヤーにふさわしい事業を行ってまいります。どうぞお楽しみに。

そして協会報『園芸文化みんなの広場』も通刊40号となりました。これからも協会の活動報告のほか、皆様の活動にお役立ていただける情報を提供してまいります。引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

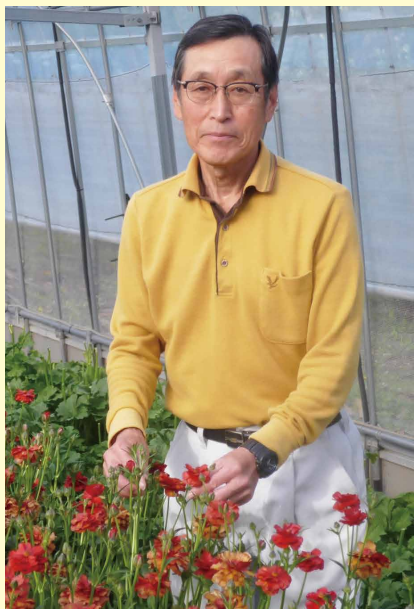
令和6年度 園芸文化賞 受賞者決定

「令和6年度園芸文化賞」の受賞者が決まりました。6月11日(火)に「表彰式・記念講演」「懇親会」を開催いたします。くわしくは別紙案内をご覧ください。

● 草野 修一 (くさの・しゅういち)

有限会社綾園芸 前代表取締役社長

国の内外、切り花・鉢物を問わずランキュラスの品種育成の第一人者で、現在流通するランキュラスのおよそ6割の品種を氏が育成しているのに加え、新しい栽培技術の普及や産地形成にも貢献し、ランキュラスブームの先駆的な役割を果たした。また、近年作出の「ラックス」シリーズは、これまでにない光沢のある花弁が特徴である上に、丈夫で育てやすく、家庭園芸にも広がりを見せるなどその影響力は大きく、園芸文化の向上と発展に大きく寄与した。



写真提供：タキイ種苗株式会社

● 羽田 智明 (はた・ともあき)

元タキイ種苗株式会社 長野研究農場長

タキイ種苗(株)において、太陽のような明るいイメージをもつヒマワリに着目し、花壇用矮性ヒマワリの開発を皮切りに、極早生ミニ種の「ビッグスマイル」、切花用ヒマワリ、無花粉で花もちが良く、栽培期間が短く周年出荷が可能な「サンリッチ」シリーズ等ヒマワリ概念を覆す品種を次々と世に送り出し、ヒマワリをあらゆる用途や場面で欠かすことのできない品目として国内外市場に定着させるなど、園芸文化の向上と発展に大きく寄与した。

● 羽田 光一 (はた・こういち)

公益社団法人日本家庭園芸普及協会前会長・メネデル株式会社代表取締役

長年にわたり日本家庭園芸普及協会の役員を務め、現在1万人を超える認定者が活躍するグリーンアドバイザー認定制度の拡充に尽力するとともに、「日本フラワー&ガーデンショー」を国内最大級の園芸パブリックショーに発展させた。また、東日本大震災の復興支援を通して「たねダンゴ」の普及やグリーンアドバイザーの活躍の場の創出にも努め、広く一般に植物への興味関心を促すなど、園芸文化の向上と発展に大きく寄与した。



ペチュニア原種との出会いから 今日までのあゆみを振り返る

令和5年度園芸文化賞受賞

育種家・有限会社フローラトゥエンティワン代表取締役 坂寄 潮

ペチュニア原種との運命の出会い

私は北海道大学農学部農学科で果樹と野菜の研究室に所属し、在学中に今でいうワーキングホリデーでドイツのワイン農家での実習を経験しました。偶然にもそのワイン農家がドイツでも有名な醸造所であったことから、(株)サントリーの技術系の役員の方と出会い、その縁で(株)サントリーに就職することになりました。ワイン研究所に所属し、5年が過ぎたころ、ブラジル東部の乾燥熱帯環境下でのワイン用ブドウの生産と試験醸造の研究のためにブラジルへ派遣されました。1年半の任務を終え、帰国も近くなった1985年12月、父が植物関係の友人を引き連れて、南部サンタ・カタリナ州とリオ・グランデ・ド・スル州を訪れ、一緒に植物調査を行いました。12月4日、私はのちに新種として記載される *Petunia altiplana* (ペチュニア・アルティプラナ) に出会います。完全な這性で1メートル以上に広がり何百という花を一面に咲かせるその美しさは衝撃的でした。

サフィニアの誕生、そして育種の世界へ

1986年春、帰国した私はバラ品種の共同開発のプロジェクトでお世話になっていた京成バラ園芸 育種研究室の鈴木省三所長にお会いして、ブラジルから持ち帰った原種のペチュニアを使った新しい品種開発を提案し、平林浩さんが実際の交配をするということ快諾していただき、育種がスタートしました。秋になり、鈴木所長から「なかなか素晴らしいものができているよ。選抜に立ち会わないか？」とお誘いを受け、選抜圃場に向かいました。そこには驚くような這性、多花性、力強さと美しさを兼ね備えた花たちが待っていたのです。この時に3人の意見が一致して選んだ株が、のちに「サフィニア・パープル」という名前で商品化され長くトップセラーとして世界の窓辺を飾ることになったのです。「私にも育種家としての眼が備わっているのではないか」と感じたと同時に、天職が私に降ってきた時もありました。

世界的大ブレイクからプロの育種家としてのスタート

栄養系のペチュニアとして近代で初めて商品として登場したサフィニアは、日本やヨーロッパなど世界中で年間1億本近くの販売を記録しました。このサクセスストーリーは今でも業界の伝説となっています。この成功を機に、自社(株)サントリーで品種開発を進めることになり、私はそのチームのチーフリーダーとして、ペチュニア、バーベナ、カリブラコア、マンデビラ、シネリアなどの開発を進めました。これらは30年以上経った今でも同社を支えている主力商品群です。

当時は、原種に近い赤紫からピンクの色ばかりのサフィニアの色幅の多様化が最優先課題でした。園芸品種側に戻し交雑をすれば、様々な花色を得ることはできましたが、数万におよぶ実生を繰り返しても満足できる特性の品種を得ることができませんでした。やはり原種との一代雑種でないのだめだという結論に至り、ブラジル南部での

「スーパーチュニア」シリーズ

Petunia hybrida

品種名(カタカナ)は現在日本で発売



ビスタピンク



ビスタシルバーベリー



ビスタミニイエロー

「スーパーベル」シリーズ

Calibrachoa hybrida

品種名(カタカナ)は現在日本で発売



Miss Lilac



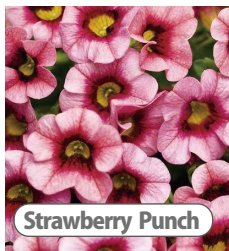
Yellow Chiffon



レモンスライス



ダブルピンクリップル



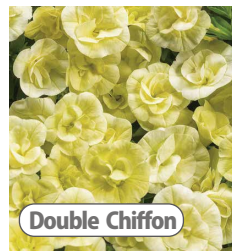
Strawberry Punch



Cardinal Star



Cherry Star



Double Chiffon

ペチュニア原種の花色変異個体の探索をスタートさせました。数年の探索の末、ようやく目的の変異個体との出会いを果たし、その後の品種展開が大きく前進しました。この間、様々な植物や人との出会いがあり、サンパウロ在住の植物学者であった橋本梧郎先生の薫陶を受けたこともその後の大きな財産になったと思います。

PROVEN WINNERS (ブルーブンウィナーズ) の誕生と出会い、そして育種家としての独立

1989年のサフィニアの登場が業界の話題を呼んでいるころ、1992年に栄養系の優れた品種を販売する植物の国際ブランド、PROVEN WINNERS (ブルーブンウィナーズ 通称 PW) が産声を上げました。種子系にはないオリジナル性の高い品種は売り上げを大きく伸ばし業界の注目を集めるようになっていました。アメリカの展示会で若い彼らと出会い、付き合いを深めるとともに将来性を強く感じた私は、このブランドに独占的に品種を供給す

る会社を立ち上げる決心をし、(株)サントリーを退職。彼らの出資を仰いで新会社 Plant21 をカリフォルニアに設立したのは1998年のことでした。PWは、現在では世界的なブランドに成長し、私の35品種、年間約3千万本を販売していただいています。

植物探索の継続と育種の展開

独立後、世界中から遺伝資源を導入し、日本で評価と交配を行い、カリフォルニアで育苗と選抜を行うという仕事を、自宅の庭に建てた小さなビニールハウスからスタートしました。2002年に最初のペチュニア品種が「スーパーチュニア」というブランド名で世界同時発売となり、販売品種の増加と好調な売り上げに支えられ、2004年に現在の滋賀県東近江市に育種設備を建設し現在に至っています。ペチュニアの育種では新たな原種を利用した「スーパーチュニア・ビスタ」というシリーズを開発し、販売も大きく伸びていますが、同時に *Petunia altiplana* を使用した品種群は市場か

ら消えつつあります。

原種とその花色変異の収集から始め、(株)サントリー時代の1992年に世界で初めて商品化したカリブラコアは、その後品種の多様化が大きく進展して世界中の育種会社が手掛けるようになり、今では花色の多様性では栄養系のペチュニアを上回るようになってきました。販売量でも重要な品目のひとつとして扱われるようになってきたところまで来ています。私も大きな育種会社との競争に負けずにリードしていると自負しています。花の育種家でゼロから大きな品目に成長するまでその中心で携わることができることは本当にまれなことでありがたいことだと感じています。70歳になりましたが、これからも自生地に出かけ、まだ使われていない原種を探し、「こんなものがあるんだ!」と皆さんに感動していただけるものを作っていきたいと思っています。



ビスタミニピンクスター



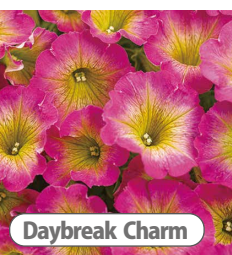
ビスタミニブルースター



Hot Pink Charm



Giant Pink



Daybreak Charm



スワローブラック



Mini Vista Scarlet



Mini Vista Midnight



Mini Rose Veined Improved

連載 育てだけが園芸じゃない

貴重な植物遺産

ナショナルコレクションを観に行こう！



公益社団法人 日本植物園協会

ナショナルコレクション委員会 長澤亜紀子

夏編 2

■日本植物園協会ナショナルコレクションについて

野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていくことを目的とした保全システムです。

※詳細はこちらから



日本で栽培される貴重な植物を保全するナショナルコレクションは、2024年5月時点で22件、3,371種類の植物が認定されています。今回からは新たに認定されたコレクションをご紹介します。日本を代表するすばらしいコレクションをぜひご覧ください。

小田急山のホテル 庭園のシャクナゲ

小田急電鉄株式会社（東京都）

三菱財閥 4代目総帥岩崎小彌太男爵の別邸として整備された山のホテルの庭園には、日本に最初に導入された西洋シャクナゲ‘ゴーマー・ウォータラー’の元株をはじめとして、江戸時代末期から明治時代に海外で作出された貴重な品種、絶滅危惧種である野生種キョウマルシャクナゲやホソバシャクナゲなど、合計42種類約300株を保存しています。樹高5m以上の大株も含まれ、明治から大正時代に成立した日本で最初のシャクナゲ園として、種類および庭園の価値も高く、次世代に残すべきコレクションです。

見ごろ 毎年4月下旬から5月中旬まで「ツツジ・しゃくなげフェア」を開催しています

小田急 山のホテル https://www.hakone-hoteldeyama.jp/tsutsuji_shakunage/



新潟県立植物園アザレアコレクション

新潟県立植物園（新潟県）



新潟県新潟市は、1935年頃から現在まで鉢植え用の常緑性ツツジとアザレアの生産量が全国一を誇ると共に、数多くの新品種を世に送り出した、アザレア生産の中心地です。新潟県立植物園ではその地域特性を生かし、日本に現存するほぼすべてのアザレア174品種を収集し、遺伝子資源としての保全や園芸文化の保存と継承、新品種の作出等の園芸産業の発展に貢献するコレクションとなっています。

見ごろ 毎年2月ごろに企画展示「にいがたの花 アザレア展」を開催しています

新潟県立植物園 <https://botanical.greenery-niigata.or.jp/>

新宿御苑日本産絶滅危惧植物コレクション

環境省自然環境局新宿御苑管理事務所・一般財団法人国民公園協会新宿御苑（東京都）

環境省新宿御苑では、2002年に新宿御苑を国内の希少な野生植物種の保護増殖の拠点と位置づけ、関東地域野生植物保全拠点園、特定植物保全拠点園、種子保存拠点園として、全国の植物園や協力団体と連携し、種子採取や保存に取り組んでいます。現在、新宿御苑の温室で栽培している野生絶滅種4種を含む全193種は、日本の絶滅危惧植物のうちの9.1パーセントを占めており、国内の希少重要なコレクションとなっています。

見ごろ 毎年6月の環境月間に合わせて「日本絶滅危惧植物展」を開催しています

新宿御苑 <https://fng.or.jp/shinjuku/news/>



オリヅルスミレ

公開および展示期間などについては、各施設にお問い合わせください

おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)

シンボルプロムナード公園内
「情熱のローズガーデン」
(東京都江東区)
のボランティア活動報告です



《3月9日》

お台場から飛び出し、杉井志織さんと一緒に京成バラ園に行き、この時期のバラの管理方法を見てきました。園長の村上敏さんからもお話を伺うことができました。

《4月13日》

ボランティア活動も3年目に突入です。新たに6名の仲間が加わり、花がら摘みと除草と清掃をしました。「手入れしやすい花壇は、手入れが行き届くから花がキレイに咲き、美しさをキープできる。」という杉井流ガーデンづくりを学びながら一緒に作っていく1年の始まりです。

午後は、杉井さんから「情熱のローズガーデン」のエリアごとの植物の選び方、



色の見せ方、手入れ方法などをお話しいただきました。ボランティアの皆さんへは、「皆さんご自身で感じたり考えたりしながら、自分の庭ではしない、できないことにチャレンジして。」という厳しくも優しいメッセージが送られました。

《5月11日》

パンジーやアリッサムなどを抜き取り、そこにペチュニアなど夏を彩る花を植えていきました。ただ6月にも花を植える予定があるため、空いたスペースのどこに植え、どこを空けておくかを皆さんに考えてもらいました。どう生長していくか、手入れはしやすいかなど考えることが色々あり、皆さん苦心をしていました。



「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお出かけください。

(丹羽)

絶賛発売中

監修 杉井志織 編 NHK出版

らくちんガーデニング

12か月の魔法

「情熱のローズガーデン」でも実践している、無理せずお庭づくりを楽しむヒントをまとめた1冊が発売になりました。ぜひお手に取ってご覧ください。

定価:1,870円(税込)



園芸文化協会が手伝う

この春の花壇から



春の切り戻し。なかなか苦戦しましたが



5月にはきれいに風にそよんでいます！



バラが主役の5月の宮前公園

春の宮前公園(東京都荒川区)は、たくさんの作業が待っています。その中でも手がかかるのがオーナメンタルグラスの切り戻しです。そして私が一番こだわ

るのがポニーテールの切り戻し。パツツンとまっすぐ切らずに自然に見えるように切ること。ちょっとコツがあるので皆で実践して頂き5月にはきれいに穂が伸

びてきました。5月はバラも咲き揃い見事でした。6月からは夏の宿根草が見ごろです。どうぞ宮前公園にお越し下さい。

(奥)

今号のひと

監事 阿比留みどりさん



今回は監事の阿比留みどりさんを紹介します。日頃は調査や協議会の運営、執筆など農業や園芸を下支えする仕事をされています。心配りは誰よりもこまやか。だけど懐が深く小さなことにはこだわ

らない。そして感性豊かで情に厚く、粋で気風よし。そんな頼れる姉御、阿比留監事に事務局はいつも助けられています。

好きな植物は？ ディスパットマム

趣味は何ですか？

良い音で音楽を聴くこと。したがって、なかなか思い通りにいきませんが、オーディオも趣味のうちに入るかもしれません。CD は気楽ですが、私はレコードの音の奥行きや空気感が好きです。

座右の銘はありますか？ 明けない夜はない…シェークスピアのマクベスに出てくる言葉です。「あとは暴君マクベスを倒すのみ」とマクダフに向かってマルカム王子が口にしています。

幸せを感じるのはどんな時？ ウーン、どんな時でしょう。

尊敬する人は？ 緑の指を持っている人みんな

休日の過ごし方は？ 急ぎの仕事がなければノンビリと、買い置きしてたまった本を読んでいます。チェックしておいた各種の展覧会に行くことも。…実は出不精なのです。

皆さんへのメッセージをお願いします

日本人にとって園芸は、改めて文化というよりは、長い時間をかけて普段着のように着こなして、身に寄り沿ってきたものだと感じています。現代はほとんどの分野において余裕がなく、そうしたことを自覚する暇もなく秒速で過ぎて行っているように思いますが、ちょっとした時間の合間にふっと身の回りの自然に耳を傾けてみたら、その先には開かれた素晴らしい日常がある、と思いませんか。

植物季語集

「俳諧季寄これこれ草」

加藤良左衛門正得編

嘉永六年

隠居 小笠原左衛門尉亮軒
<https://nagoyaengei.co.jp/> より

「朝顔に 釣瓶とられて もらい水」

これはご存知加賀千代女の名作。

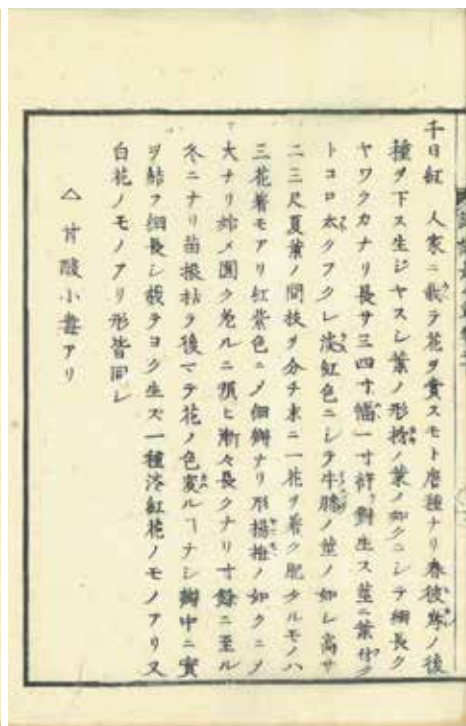
このように俳句には日本の四季の移り替りを句の中に詠み込むことが芭蕉以来の作句の作法のようである。そしてその季節を表すのに植物の時々に見せる現象は季語に最も多く取り上げられるようになった。ところが、実物があって句が浮ぶ事もあれば、さてこの月、この旬にはどのような植物が、或いはどんな花が咲いているのか、その手引書として本書が編集された。著作は備中岡田藩士、加藤良左衛門正得。

嘉永六年大坂の版元から上梓された上下二冊本である。内容は一年十二ヶ月に分け、各植物図入にて植物の特徴を記す。

例えば「センニチコウ」は「漢名千日紅四月月季」と図中に記し、本文は「千



日紅」人家二栽テ花ヲ賞ス モト唐種ナリ 春彼岸ノ後種ヲ下生ジヤスシ 葉ノ形柿ノ葉ノ如クニシテ細長クヤワラカナリ長サ三四寸幅一寸許リ対生ス 莖二葉付クトコロ太クフレ淡紅色ニシテイノコヅチノ莖ノ如シ (中略) 夏葉ノ間枝ヲ分チ末ニ一花ヲ着ク 肥タルモノハ三花着モアリ 紅紫色ニシテ細弁ナリ



形ヤマモノノ如クニシテ大ナリ 始メ円ク老ルニ順ヒ漸ク長クナリ寸余ニ至ル (中略) 一種淡紅花ノモノアリ又白花ノモノアリ形皆同ジ。

植物をよく観察し読む者に理解しやすい記載であり、植物図鑑としても役立つ書籍である。

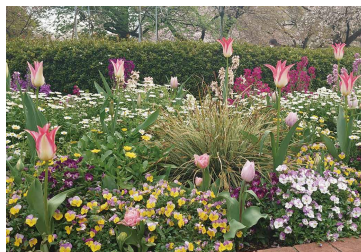
お知らせ

80周年委員会より

協会の創立 80 年を記念し、寄稿文集を制作することになりました。つきましては会員の皆様からの原稿を募集いたします。字数、テーマなど詳細は近日中にご案内いたします。原稿締切は 11 月末、発行は来年 2 月ごろの予定です。ぜひご協力ください。

事業委員会より

当協会が手伝う花壇の活動報告です。



●新宿御苑

丸花壇（大温室前）のデザインとボランティアさんへの指導を奥峰子常務理事が担当しています。12月に植え付けたチューリップとビオラが桜とともに園内を彩っていました。

講座委員会より

《セミナー実施報告》

●3月29日（金）

もちだ先生と牛ちゃんの「知らない常識・知ってる間違い」2023 後期 病害虫徹底攻略 ②病気編 うどんこ病、黒星病、灰色かび病、べと病 など 講師：望田明利（理事）・牛迫正秀（住友化学園芸（株））参加：26名

●4月24日（水）

サスティナ宿根草カラーレッスン レッスン1：ピンク、ブルー、パープル 講師：奥峰子（常務理事）参加：29名



《セミナー実施予定》

※予告なく変更および中止になる場合がございます。

●もちだ先生と牛ちゃんの「地球にやさしいガーデニング」

②7月19日（金）肥料編

③9月13日（金）病害虫編

※いずれもキャンセル待ちにて受付中

講師：望田明利（理事）・牛迫正秀（住友化学園芸（株））時間：13:30～15:30 会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）参加費：2,000円 定員：30名

●サスティナ宿根草カラーレッスン

レッスン2：イエロー、オレンジ 6月19日（水）（セミナー）／7月24日（水）（見学会）

レッスン3：ホワイト 8月28日（水）（セミナー）／9月25日（水）（見学会）

講師：奥峰子（常務理事）時間：14:00～16:00（セミナー）／11:00～12:00または14:00～15:00（見学会）会場：国際文化会館4階セミナールーム（セミナー）、東品川海上公園屋上庭園（レッスン2見学会）、荒川区立宮前公園（レッスン3見学会）参加費：会員4,000円 一般5,000円 定員：35名

●9月24日（火）7:30～18:00

フラワートライアルジャパン2024 秋日帰りバスツアー 引率：丹羽理恵（事務局長）会場：フラワートライアルジャパン2024 秋全会場（長野県・山梨県）※詳細は決まり次第ご案内いたします。

●「おもてなしガーデンボランティア（情熱のローズガーデン）」講習会2024-2025

(1) 6月8日（土）酷暑を乗り切る！真夏に強い花とラクできるメンテナンスのコツ 講師：藤原雅志（（株）ハクサン）

(2) 7月13日（土）薬剤だけに頼らない！植物の総合的な病害虫対策 講師：牛迫正秀（住友化学園芸（株））

(3) 9月14日（土）秋バラを花壇でも鉢でも。有島流とおきのバラの育て方 講師：有島薫（ローズライフアドバイザー）時間：13:20～15:20 会場：青海フロンティアビル（東京港埠頭（株）内）参加費：会員1,500円 一般2,000円 定員：30名

《編集》編集委員会：南場浩一 奥峰子 御巫由紀 丹羽理恵
DTP：清野典子

園芸文化協会
の本棚から

新刊のご紹介



花で読みとく「源氏物語」

ストーリーの鍵は、植物だった

紫式部は「源氏物語」で、人の世の切なさや秘めたる思いなど、登場人物の心のうちを随所で植物に託し表現しているのだそうです。本書にも「ヤマザクラ」「ハス」などなじみのある植物がいくつも出てきます。相関関係が複雑で難解な「源氏物語」を植物にフォーカスして読み解くのも花好きにはたまらない楽しみ方と思えました。著者は考花学者としてメディアに引っ張りだこの川崎景介氏。「源氏物語」のファンの方のみならず、花好きの方、歴史マニアの方など、多くの方にお読みいただきたい一冊です。



著者：川崎景介 発行：講談社
定価：1,760円（税込）

編集長の独り言

今回は「園芸のジャポニスム」という本を紹介します。19世紀末にパリを中心に起きたジャポニスムは浮世絵や服飾、工芸品による日本趣味の流行でしたが、そこに日本の園芸も含まれていたそうです。1889年のパリ万博で日本庭園を造り、盆栽や菊、ユリなど日本の植物を展示したことが注目を集め流行の先駆けとなりました。これらの制作や展示にハタ・ワスケという一人の庭師が大きくかかわっています。彼は万博後もパリに残り、モンテスキウ伯爵のお抱え庭師となりました。その後も多方面で活躍し「芸術庭師」として叙勲されるまでになります。それだけの功績がありながら、今ではすっかり忘れ去られ、謎の庭師とも言われています。著者は国内外の膨大な資料に当たってハタ・ワスケについて調べ、彼の足跡と園芸のジャポニスムについてまとめたのが本書です。初めて知ることが多く、驚くばかりですが、貴重な園芸文化史を知る一冊です。

書名「園芸のジャポニスム」著者：鈴木順二
発行：平凡社 46版 440P 定価：4,620円（税込）

南場浩一

とよあけは花文化をつなぐ一個として
日本の花き園芸文化を守り続けています

『花の文化立国日本お花の歳時記』第三刷
アマゾンにて好評販売中

永田晶彦
お花の歳時記

花の文化立国日本

こちらの男性は
後程高飛車な態度を
とったことを
反省します

こちらの女性は
この後才女として
語り継がれます

一粒書房

カバー画/月岡芳年 『太田道灌歌道に志す圖』より (Alamy Stock Photo)

文学・芸術とともに世界最高峰まで発展した
「日本の花文化」を伝統的な花ごとに
解りやすくユーモラスに記した一冊

花の文化立国

toyoake@fengming.jp 愛知豊明花き流通協同組合

HYPONEX®

日本の園芸を、未来につなぐ。

元肥

HYPONEX®
草花・球根・野菜・
プランターに!

プランター
4個分
200g

リサイクル資源の
再生リンサン使用

MAGAMP
マグアンプeco
約1年間の効果の
5-35-5-16
中粒

200g

チッソ リンサン カリ マグネシウム

循環型資源の再生リンサンを使用 5-35-5-16

マグアンプeco 中粒 200g

草花・野菜・観葉植物・多肉植物に!
植えつけ・植えかえ時に土に混ぜこむだけ

株式会社 ハイポネックス ジャパン | <https://www.hyponex.co.jp>

サカタのタネ

両方のよさを“いいとこ取り”
『ペチュニア』×『カリブラコア』
ビューティカル®
BeautiCal

美しく、お手入れ簡単
暮らしをあでやかに彩ります

YOUTUBEチャンネル好評配信中

切り花新品种紹介

ガーデニング

INNOVATE FOR BEAUTY & TASTE

ミヨシグループ
MIYOSHI GROUP

みらいのイチゴ
ベリーポップ